

本の森図書館 だより

No.101 9月号

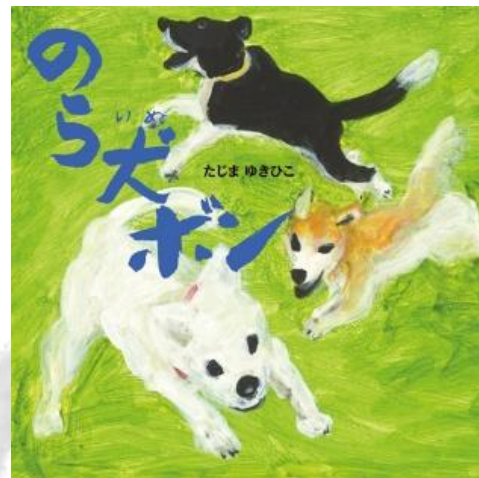
9月20日～9月26日は、動物愛護週間です。

日本の動物愛護週間は、1915年に「アメリカ動物愛護協会」が動物愛護週間を制定したことが由来です。アメリカの動物愛護週間は、5月の第1日曜日から一週間と定めています。これに倣い、新渡戸稲造夫妻が設立した日本人道会が、1927年5月28日～6月3日に日本で初めて動物愛護週間を実施しました。

1954年以降は、現在の秋分の日を中心とした一週間を動物愛護週間として設け、動物愛護精神の普及啓発活動に努めています。



“そんなのおかしいよ” 立ち上がった彼女たちのプロジェクトは「いのちの花」青森県立三本木農業高校に通う彼女たちは、殺処分されゴミとして捨てられていく犬や猫たちの骨を目の当たりにし、殺処分の現状を知る。「かわいそうで終わってはいけない」プロジェクトを通して、彼女たちが伝えたかったこととは何か。



父さんの東京への転勤が決まり、飼い犬のボンと別れることになったとしお。父さんは、友だちの家にボンをあずけると嘘をつき、橋の向こうの島に、ボンをすてた。

絵本作家たじまゆきひこが、淡路島の野良犬や、動物保護に関わる人々への取材をもとに描いた、犬と人の関係を鋭く問いかける感動作。



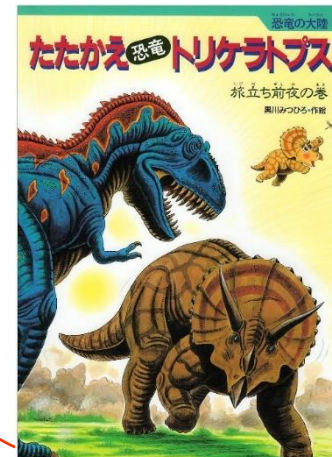
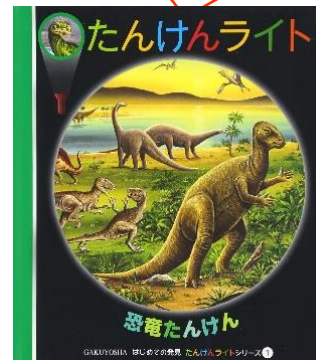
“ぼくはねこ。なまえのないねこ。だれにもなまえをつけてもらったことがない。「いいな、ぼくもなまえほしいな」。名前を探す野良猫が見つけた「ほんとうに欲しかったもの」とは？

本の森に恐竜現わる!!

高知みらい科学館のモバイルミュージアム「恐竜ボックス」が本の森図書館のエントランスに!!!



箱の中には恐竜が2体！スイッチを押してみると…。あっっっ！！と驚くしかけを見に来てくださいね！



館内では、恐竜の本もたくさん
ご用意してお待ちしております。